

佐賀県視察レポート

須崎孝一

“ドーンッー”と着陸した佐賀国際空港SPRING AIR便、小生初の佐賀県入りよくも歓迎してくれたもんだと、感心しきり。レンタカーで空港エリアを出た途端、地平線まで続いているんじゃないかと思われた小麦畑。次第に見え始めた建物、佐賀県庁に到着。小生在住の県庁より立派なものに思えた。

さが創生推進課 移住支援室面々との質疑に行き詰っている様相がうかがえた。その時に得た他の市町村のチラシ等に表現されている状況把握がほとんどできていないように感じた。自慢の佐賀城本丸歴史館を案内して頂いたことはありがたかった。

武雄市においては立派なコンセプトを持ちながら、必ずしも上出来とはならず及び腰、あるいは Waite の姿勢になりつつあるが、成功例具体的な施設等の PR を実施する必要があると感じました。資金面の補助は二次的かも。

唐津市においては他の行政とは少し異質で、運営を NPO 法人に任せ（現在は行政からの資金援助）積極的に活動運営している。他の行政に無い交流会組織をつくり、唐津在住者 市外在住者 外国人も含み人間同士の交流をメインにしていることは、非常に目新しい方策であり成功を祈りたい。但し、いずれ行政からの資金援助は得られなくなることを考えると自立運営はかなり困難になることも予測され、発展的に改変することが予測される。ただ、物・金だけではなく人との交流を第一に考えることは不可欠と思いたい。また、最低限の有料化も視野に入れておくのも自立 NPO のためには必要かも。

今回の視察には予定に入っていない、有明海の干拓地をどうしても見たかったので行ってきましたが、非常に感銘を受けました。

今回の佐賀視察は小生にとって全部が第一印象であり、こと観光地は数多くあるものの、ロングステイ、あるいは移住にしても佐賀に関しては観光地にステイするより、必ずしも規模は大きくないが生活するのに便利な設備等がそろっている佐賀市でいいんじゃないかと思いました。

以上